

日本棋院横浜栄支部より

お知らせ！

11月3日ネット配信による日本棋院横浜栄支部『2020年度総会』において、青井茂樹氏が新支部長に就任されました。さらに、青井新支部長が「タウンニュース」に取り上げられました。

是非ご覧ください！！！！

掲載紙:タウンニュース
(港南区・栄区版)
12月3日号(No.810)
掲載欄:「人物風土記」



日本棋院横浜栄支部 第三代支部長に就任された青井茂樹氏

人物風土記

題字は
林文字 横浜市長

場になっている。「囲碁 テニスクラブにあった囲碁の仕事をさせていたたいたのがきっかけ。囲碁の魅力に惹かれ、62歳の時に普及会に入会した。

○…栄区内には日本棋院横浜栄支部のほか、栄区囲碁普及会、栄区囲碁連盟、楽碁会があり、囲碁の普及と発展に取り組んでいる。同支部の会員は約240人。その役割は全国組織の地域機関として段・級位の認定会の実施、大会や教室の運営を通じて普及と会員の親睦を図ること。「大変な重責。日本棋院の中でも全国2位の会員数を誇っている。このコロナ禍でも何とかして活動を進めなくてはならない」

囲碁でお役に立ちたい

○…「年を取って人の役に立っていることが心地よくなるように」



●このほど日本棋院横浜栄支部の支部長に就任した

青井 茂樹さん

栄区庄戸在住 64歳

○…全国でも屈指の囲碁が盛んな栄区といえども、人口減少や定年延長の影響にこのコロナ禍とあって会員集めは難しい。囲碁を通じて様々な人の交流の場を生んできたからこそ、やり切れない思いがある。「自分は本当にラッキーな人生を歩んできた。自分は人生80歳だと思っている。あと6年間、社会のお役に立ちたい」。青井流の舵取りが動き出す。